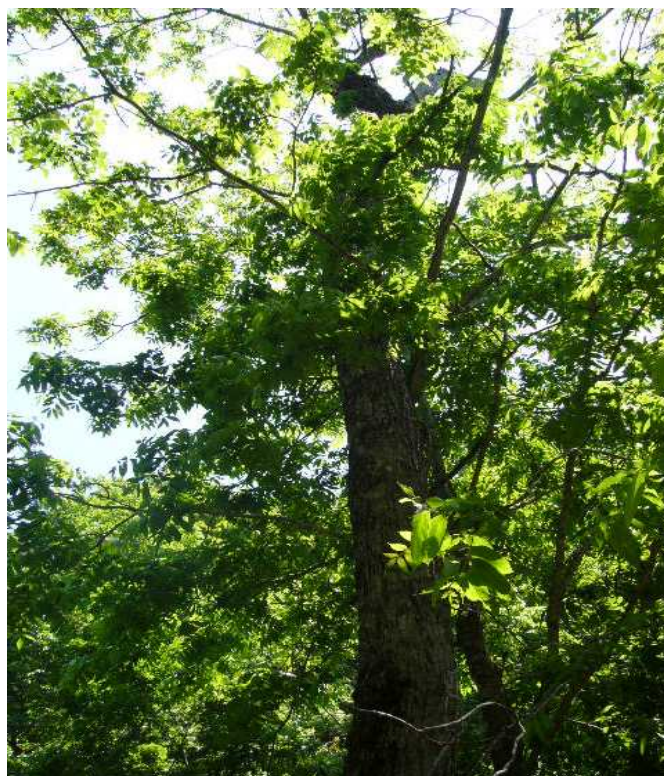


# 留萌地域の樹木図鑑



クルミの巨木（留萌市藤山地区内国有林）

林野庁北海道森林管理局  
留萌南部森林管理署

# — 目 次 —

## 針葉樹編（全 4 種）

トドマツ	.....	1
カラマツ	.....	2
イチイ（オンコ）	.....	3
ドイツトウヒ	.....	4

## 広葉樹編（全 12 種）

ミズナラ	.....	5
ハリギリ（センノキ）	.....	6
ダケカンバ	.....	7
ヤチダモ	.....	8
シナノキ（アカジナ）	.....	9
オヒョウニレ	.....	10
ハルニレ	.....	11
カエデ類	.....	12
ハンノキ類	.....	13
エンジュ	.....	14
ホオノキ	.....	15
キハダ（シコロ）	.....	16

（ ）は別名

# トドマツ

北海道の郷土樹種で、代表的な人工造林樹種



枝は水平から斜め上方に出る。



樹皮には多数の樹脂溜まりがある。



見た目は柔らかい感じ。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
通直に伸び、枝は水平から斜め上方に出る。樹皮は灰褐色で滑らか、水ぶくれのような樹脂溜まりがある。	短い線形で、先は2つに分かれる。表は濃緑色、裏は白い2本の線がある。見た目は柔らかい感じがする。	北海道で最も多く見られる針葉樹。主に建築用材や製紙用材として利用。

# カラマツ

秋に黄葉する落葉針葉樹



細長い縦の鱗状。



短枝の葉は束状。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
通直に伸び、樹皮は灰褐色で細長い縦の鱗状に剥がれる。 枝は水平に出て、老木になると垂れ下がるものが多い。	線形で短枝には20～40枚が束状、長枝にはらせん状につく。 秋に黄色く、落葉する。	北海道のカラマツは植林されたもの。 用途は建築材など広く、最近では集成材等に期待されている。 ネズミの食害が多い。

# イチイ

貴人の持つ「<sup>しやく</sup>笏」の材料の木



写真は廃校（H15.3）  
になった藤山小学校  
の校庭にあるイチイ。



密生した枝



樹皮は赤褐色  
で裂けやすい。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
通直で枝は密生してつき、樹皮は赤褐色で、浅く縦に裂ける。	線形で先は尖り、触ってもあまり痛くない。裏に黄緑色の2本線がある。	秋には赤い実がつき食べられる。材の色は朱色を帯びており、緻密で狂いにくく、床柱などに使われる。園芸用として住宅の庭でもよく見られる。

# ドイツトウヒ

## ヨ - ロッパ産の常緑針葉樹



写真は「ト - ヒ沢」  
のトウヒ人工林。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
通直で円錐形の樹冠になり、老木になると枝が垂れ下がる。	線形で先はとがる。 断面はひし形。	球果は大きく長さ20cmにもなる。 留萌市東幌糠町の国有林にはトウヒの人工林が多く、「ト - ヒ沢」と呼ばれている箇所がある。

# ミズナラ

## ドングリのなる木



太い枝



おおきなギザギザが特徴。



厚い縦目のある樹皮

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
枝は太くよく分岐する。樹皮は灰褐色で、厚く不規則な縦の割目がある。	縁に大きなギザギザがあり、枝の先にまとまってつく。	高級家具やフロ-リングなどに利用。水分を多く含む。

# ハリギリ (センノキ)

家具材として代表的な木



大きな手のひらのような葉。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は深い縦の割れ目があり、小枝や若木には鋭いトゲがある。	長い葉柄があり、5～9つ（写真は5つ）に裂する。	材は光沢が美しく、加工が容易で家具材などに広く使われる。



# ダケカンバ

果穂は上を向く



紙のように横にはげる。



縁は不揃いなギザギザがある。



老木では縦に裂け目ができる。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮はシラカンバに似ているが、少し紅色がかり、老樹では荒く割れる。	ほぼ三角形で先は尖る。縁には細かいギザギザがある。	山火事の跡地にいつせいはえることが多い。

# ヤチダモ

谷地（湿地）を好む



葉先は急に細くなる。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は灰白色から灰褐色で、浅く縦に裂ける。枝が太い。	狭く長い楕円形の葉が、7～11枚つき、縁に細かいギザギザがある。	木目が美しく、家具材の他、バットなどの運動用具材に使われる。

## シナノキ（アカジナ）

材は白くて柔らかい



樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は灰褐色で、浅く縦の割れ目があり粗い。	ハ - ト形で先は鋭く尖る。縁には、尖ったギザギザがある。	合板、彫刻材、鉛筆に使われる。

## ニレノキ（オヒョウニレ）

葉は角状に尖り、先割れスプ - ンの形



先割れスプ - ンの形。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は淡い灰褐色で、浅く縦に割れる。	葉は歯形、先は角状に尖り先割れスプ - ンの形に似ている。	アイヌ語で繊維を取る樹皮「オピウ」の意。家具、建築材に使われる。

# ニレノキ (ハルニレ)

別名 アカダモ・エルム



皮をはぐとネバネバの樹液が出る。



葉の基部は左右不揃い。

樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は灰褐色で不規則な縦の割れ目がある。	倒卵形で先は急に尖り、基部は左右不揃いで、葉の裏には短毛がありザラつく。	車両材、家具材などに使われる。

## カエデ類

イタヤカエデ、ハウチワカエデなど種類が多い

(アカイタヤ)



切れ込みが浅い  
ハ - ト形が特徴



樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は灰褐色で、平滑又は浅く縦に割れ目がある。	ややいびつな五角の手のひら状。 先は急に尖り、葉柄が長い。	家具材、スキ - 板、建築内装材などに使われる。

# ハンノキ

ミヤマハンノキ、ヤマハンノキなど種類が多い

(ケヤマハンノキ)



樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は暗灰色で割れ目がない。	広卵形～広だ円形、基部はやや円形、縁にやや細かいギザギザがある。	土木・器具材に使われる。

## イヌエンジュ（エンジュ）

床柱など建築装飾材として人気



樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は淡緑褐色から淡褐色で滑らか、横に伸びる皮目が目立つ。	卵形の葉が7から13枚つき、滑らか。 裏は緑白色で、新葉は銀白色である。	材質はかたい。

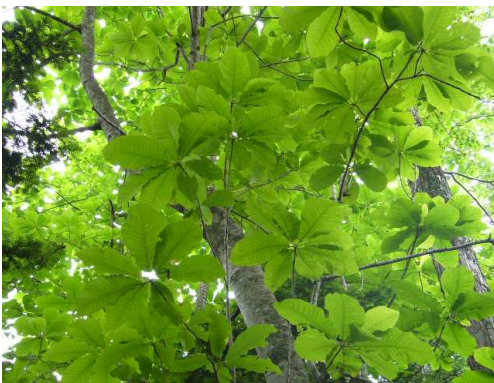


# ホオノキ

厚みのある、おおきな葉が特徴



縁はなめらか



樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は灰白色で、枝は太い。	20～40cmと大きく、枝先に付く。中央より先で幅広になり、鋸歯はない。	軟らかく加工しやすいため、建築、器具材など広い用途に使われる。花は白く香りが強い。

## キハダ

樹皮はコルク状で内側は黄色い



樹幹の特徴	葉の特徴	その他
樹皮は灰褐色で厚いコルク層、内皮は黄色で苦い。	狭い卵形で、不揃いなギザギザで、先が尖る。	材は紅色を帯び光沢が出るため、床材、家具材に使われる。 黄色い内皮はオウバクという薬(胃腸薬)になる。